

No. 24

平成28年3月1日

自治医科大学附属病院だより

Jichi Medical University Hospital



平成28年熊本地震 医療救護班

自治医科大学附属病院の理念・基本方針

理念

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 地域と連携する医療
4. 地域医療に貢献する医療人の育成

基本方針

1. ①安全な医療 ②人間味豊かな医療 ③質の高いチーム医療 ④高度で先進的な医療 を提供します。
2. 情報公開を積極的に推進します。
3. 地域の医療機関との連携を深めます。
4. 地域医療に気概と情熱を持ち、全人的な医療を実践する医療人を育成します。

患者の皆様の権利と義務について

【患者の皆様の権利】

自治医科大学附属病院に働くもの(私たち)は、患者の皆様が医療の中心であり、患者の皆様と医療関係者との信頼関係の上に医療は成り立つものだと認識しております。患者の皆様には次のような権利があります。私たちはその権利を尊重します。

- ・ 個人として尊重された上で適切な医療を受ける権利
- ・ 安全に配慮した高度で良質な医療を平等に受ける権利
- ・ 病状や治療内容について十分説明を受ける権利
- ・ 十分な説明を受けた上で、治療方法等を自らの意思で選択決定する権利
- ・ 治療方法等について、他の医療機関(医師)に意見を求める権利(セカンドオピニオン)
- ・ 申し出により診療録の開示を受ける権利
- ・ 診療に関する個人情報保護・尊重される権利

【患者の皆様へのお願い】

当院は、高度医療の提供、高度医療技術の開発・評価、高度医療に関する研修を行なう特定機能病院としての承認を受けております。適切な医療を実現するために、次の点にご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・ ご自身の健康状況について出来るだけ正確にお話してください。
- ・ 医学生・看護学生等の見学・実習・研修が行なわれております。
- ・ 本院での急性期の治療・検査をいったん終了し、病状が安定した後は、地域の連携医療機関へご紹介いたします。
- ・ 臨床研究についてご協力をお願いする場合がございます。臨床研究に参加しなくても、またいったん参加したあとで参加を取りやめても、不利益を受ける事はありません。
- ・ 脳死臓器提供や緊急の臓器移植手術のために、予定されていた手術が急遽遅延したり、中止になる可能性があります。
- ・ 脳死と判断した場合には臓器提供の機会があること、手続に際して担当医師以外のコーディネーターによる説明があることをお話しする場合がございます。この場合でも、その説明を聞かなくても不利益は受けません。
- ・ 法令と病院の規則を守り、病院スタッフの指示に従って行動してください。
- ・ 患者の皆様と、病院スタッフを守り、開かれた安心できる医療を提供するために、暴言・暴力・迷惑行為が行われた場合には、診療を控えさせていただくことや、警察に通報することがあります。
- ・ 本院の敷地は、建物内、外周とも禁煙です。

▶ 患者さまからのご意見に対する回答	2
▶ リレーエッセイ	3
▶ トピックス「外来リニューアルのご案内」	4
▶ 病気を知ろう! 第24回「メニエール病について」	5
▶ 診療科・部門のご案内「小児外科」「臨床薬理センター」	7
▶ 季節のレシピ「とちぎ野菜の鶏飯風」	9
▶ 検査の豆知識	10
▶ お知らせ掲示板	11

患者さまからのご意見に対する回答

患者さまからいただきました貴重なご意見、ご要望について、以下の通り回答します。

廊下の手すりに埃が目立つようでした。掃除をきちんとお願いいたします。

この度は清掃に不備があり、誠に申し訳ございませんでした。早速、全ての手すりを確認、清掃を実施いたしました。今後このようなことがありませんよう、こまめに巡回し、清掃を徹底してまいります。

正面玄関が何時に開くのか分かりませんでした。面会や診察に来た方に分かり易く時間帯を表示して頂けると助かります。

この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。患者様や、ご家族の方々へ対する配慮が欠けておりました。大変申し訳ございませんでした。現在、各正面玄関の解錠時間を表示いたしました。

場 所	該当日	解錠時間
附属病院正面玄関	診 療	7:30~20:30
	休 診	13:00~20:30
子ども医療正面玄関	診 療	7:30~19:00
	休 診	解錠いたしません。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

リレーエッセイ

〈連載〉第4回

医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)にご相談ください。

医療ソーシャルワーカー 主任
並木 誠

人は誰も突然の事故や病気にかかる可能性があります。それをきっかけに、患者さんだけでなくご家族までも、それまでの暮らしが一変してしまうことが少なくありません。ともすると、今後の治療や生活を考えて不安や心配で押し潰されそうになってしまいます。そのようなときは医療ソーシャルワーカーにご相談下さい。

療養中に起こるさまざまな身体や心の痛み・苦しみが緩和され、よりよい解決方法が見つかるように支援します。医療ソーシャルワーカーは社会福祉の立場から、患者さんにご家族の“こころ”“からだ”“暮らし”を支える専門職です。



(スタッフ一同)

みなさんは病院に来ると一律に“患者さん”と呼ばれます。でも、病院の外の社会、職場や学校、家庭ではそれぞれが大切な存在であり、様々な役割をもった生活者です。私たちはこれを大切にしつつ、患者さんやご家族からお話を伺い、現状の整理、お気持ちの確認をしていくことから始めます。そこから、療養をしていくために支障となることをできるだけ取り除き、自分自身の力で次の一步を踏み出せるように解決の糸口を探っていきます。そのためには、その方の病状や個別の状況に合わせて、医師、看護師、その他の院内職員や生活されている地域の医療・福祉の専門職の方々等とも話し合いを持ちます。また、利用できる社会保障制度や社会資源がある場合には、その紹介や手続き方法の説明を行います。

こんなとき、お気軽にご相談ください
皆様が自分らしく生活するためのお手伝いをいたします

医療費や生活費が不安



通院・入院中の生活や仕事が不安



退院後の療養生活が不安



病気や治療についての心配や不安



福祉サービスや手続きについて知りたい



各種施設、関係機関などの利用方法を知りたい



ときには、すぐに役立つ具体的な手立てがなく、お話を聴くだけになることもあるかもしれませんが、それでもその時間が、そのひとらしい暮らし方を実現するための新たな道につながる出発点となるよう全力で支援したいと考えています。お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

※がんサロン「虹」の開催、療養に関する情報コーナーを開催しています。
予約は不要ですので、ご利用ください。

トピックス

外来リニューアルのご案内

経営管理課
企画経営室

昨年10月に、医事課の一部と薬交付、患者相談室等が移転して運用を開始していましたが、本年3月に本館1階旧薬剤部跡地に医事課外来医事係及び審査係の移転が完了して、医事課の機能集約化が図れ、一体化した運用を開始いたしました。

本年9月より本館正面玄関付近から2階・腎臓センター、泌尿器科及び産科婦人科の診療エリアをつなぐエスカレーターの設置工事が完了し、運用開始いたしました。

また、旧医事課跡地には、患者サポートセンター等が移転し患者相談等の機能集約化が図れ、一体化した運用を開始いたしました。

平成23年度から長期間にわたって、外来リニューアル改修工事を進めてまいりましたが、今回の工事にて終了となります。工事期間中の騒音・振動等でご不便をおかけしましたが、おかげさまでもちまして、大きな事故もなく工事完了となりました。ご協力、ありがとうございました。

【本年3月から運用開始した医事課】



【エスカレーター及び患者サポートセンター内】



病気を知らう!

Do you know the illness?

〈連載〉

第24回

耳鼻咽喉科
高野澤 美奈子

『メニエール病について』

メニエール病ってどういう病気?

めまいを経験し、医療機関で「メニエール病かもしれません」と告げられた経験がある患者さんは比較的大勢いらっしゃいます。しかし、実際のメニエール病の患者さんは、大学病院の耳鼻科に受診するめまい患者さんの20%以下と言われ、そんなに多いわけではありません。メニエール病は、20分以上ぐらいは続くめまいの発作が2回以上、関連した聴力低下（多くは片耳）の発作を1回以上認めて、初めて診断される内耳の病気です。めまいはぐるぐる回ると感じることも、フラフラすると感じることもあります。だから、1回のめまいのエピソードがあっただけでは、診断できる病気ではありません。

このように、メニエール病という病気の診断には、ある程度の観察期間が必要です。耳鼻科で眼振（目の規則的な揺れ）の観察や聴力検査を行います。初期の頃は症状が軽く、耳閉感のみ、めまいのみの場合も多く、症状が揃うまでしばらくの期間がかかります。また、患者さんによって、その程度、発作頻度、発作間隔は幅が広く、わかりにくい場合もあります。しかし、病状が進行すると、聴こえが悪いままになったり、めまいが頻繁に生じ、生活に支障が出ることもある厄介な病気でもあります。

メニエール病の原因は?

メニエール病は、「内リンパ水腫」といって内耳にある内リンパと言われる液体が過剰になり、内耳に浮腫が生じたり、治ったりを繰り返す病気です。きっかけは人それぞれで、遺伝や環境因子（過労や不眠、精神的ストレスなど）が考えられています。これらの因子が複数重なり発症すると考えられているので、なかなか原因を一つに特定するのが難しい病気です。

メニエール病に似たような症状を示す違う病気もあります。耳の神経の腫瘍性疾患や神経血管圧迫症候群と言われる病気もあり、脳MRIで鑑別します。

メニエール病の治療(図)

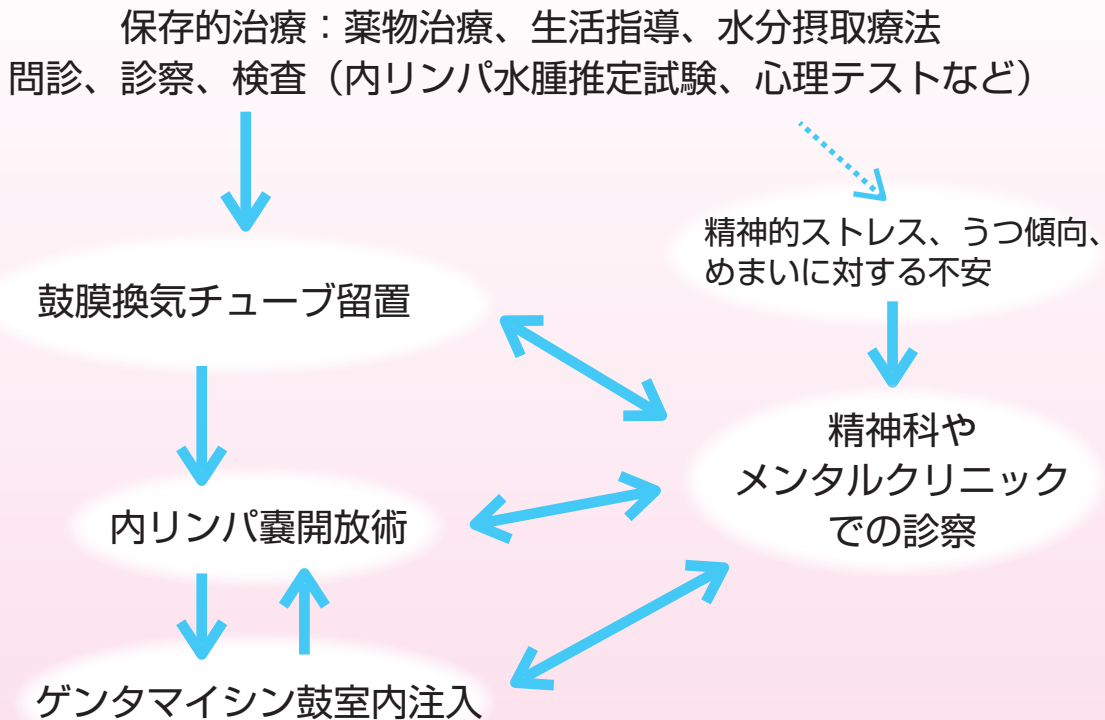
メニエール病の治療の主体は出来るだけ「内リンパ水腫」の状態を避けるように維持し、めまいや難聴の発作を生じないようにすることです。一般的には、まず、お薬を内服してもらいます。内耳の浮腫を改善させるために、イソソルビドなどの浸透圧利尿薬や内耳循環改善薬と言われるお薬を服用していただきます。その他、発作の引き金となる因子（過労や睡眠不足や精神的ストレスなど）を

改善することや適度な運動も大事と言われています。しかし、このような薬物治療や、生活指導、ストレスの回避を試みても、なかなか発作が治まらない方がいます。そのような患者さんには、うつ病や精神不安が強い方がおられ、精神科の先生に専門的に診察を依頼することがあります。精神的な問題が解決することで、メニエール病のめまいや難聴の経過が良好になることがあります。さらにそれでも症状の改善を認めないような患者さんには、保存的治療のほかに、鼓膜に換気チューブを留置したり、内リンパ嚢解放術という手術や、ゲンタマイシンという薬物を鼓膜を通し内耳に作用させる方法などを、行うこともあります。

もしかしたら私メニエール病かしら？

もしメニエール病かなと思ったら、まず落ち着いてよく自分の症状を観察することが大切なことです。めまいと耳鳴や耳閉塞感の関係や、始まったきっかけ、どんな時に増悪しやすいかなど。めまいが激しい時はクリニックを受診すること自体が難しいこともありますので、そのような詳細な情報をお伝えいただくことがとても診断に役立ちます。そして出来るだけ、同じクリニックで聴力検査やめまいの診察を受けましょう。めまいを繰り返すということで、クリニックを変えて渡り歩く人がいますが、継時的な経過の状況が把握しにくく、余計に診断がつきにくい場合があります。

当科でのメニエール病診療の流れ



診療科・部門のご案内

小児外科

小児外科
小野 滋

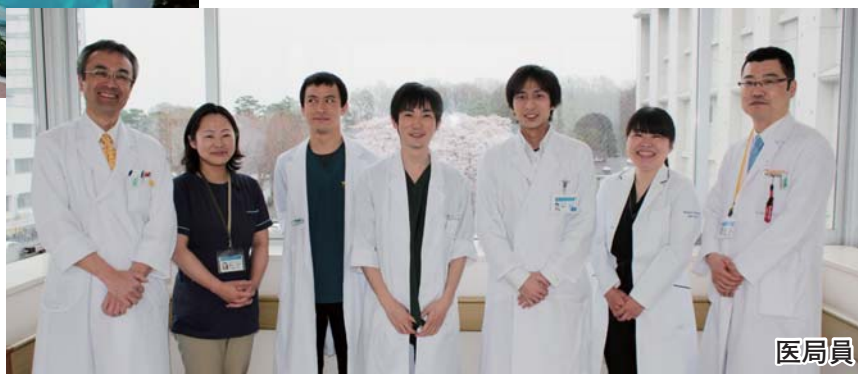
小児外科は小児(内)科に対応し、新生児、小児にみられる外科疾患を対象とする科です。よく言われる「子どもは小さな大人ではない」の言葉通り、新生児、乳児特有の疾患に対する手術を行いますので、小児外科の手術は成人外科の手術とは全く異なる点が多く、術前術後管理もそれぞれの疾患に特異的な注意を要することが多くあります。対象疾患は、胸腹部だけでなく頭部から四肢までカバーしており、様々な先天性疾患から悪性腫瘍まで幅広く外科的治療を行っています。なかでも、新生児外科、小児の呼吸器外科、腫瘍外科に関しては他の施設では手術困難な症例も多く、エキスパートであると自負しています。当科では年間500例の小児外科手術、そして30例の新生児外科手術を行っており、いずれも大学附属病院として国内有数です。近年は出生前診断による母体搬送症例も増加しており、時には体重1000g未満の超低出生体重児に対する手術もおこなっています。



自治医科大学
とちぎ子ども医療センター

「子どもに優しい医療」を基本理念に、「世界水準の医療を地域の子どもと患児の家族の笑顔のために」日々頑張っています。当科は2004年1月にそれまでの一般外科学講座より新しい診療科として独立しました。2006年10月には、自治医科大学の敷地内に『とちぎ子ども医療センター』が開設され、大学に併設したこども病院としての特性を活かして、地域における小児医療の充実が図られるなかで、小児外科もその中心的役割の一翼を担うべく診療に従事しています。さらに数だけでなく、安全で質の高い小児外科医療の提供を行なうことを心がけており、手術を受けた子どもたちのその後の何十年にわたる人生における生活の質の向上(Quality of life)が得られるよう努力を重ねています。

日本小児外科学会認定指導医1名、専門医3名を含めた専従医7名を中心に診療を行っており、24時間態勢で栃木県内はもとより関東全域、あるいは東北地方の医療機関からの症例も積極的に受け入れ、高度な外科技術を要求される小児外科疾患に対応しています。これからは日本の小児外科医療の発展、そして地域の小児医療の充実のために頑張りますので、よろしく願いいたします。



医局員

臨床薬理センター

臨床薬理センター
牛島 健太郎

臨床薬理センターでは、薬物療法に関するコンサルテーションや治験・臨床研究の予備審査を行っています。主な業務内容は次の3つです。

①. 臓器移植後の薬物療法コンサルテーション

臓器移植後は、免疫抑制薬をはじめとした薬の使い方が大変重要であり、移植手術が成功する鍵となります。毎日移植外科のカンファランスに参加し、移植外科の医師および薬剤部の薬剤師と相談しながら、薬の使い方を決定しています。

②. 妊産婦・授乳婦の薬物療法コンサルテーション

「妊娠中に薬を飲む必要があるのだけれど(飲んでしまったけれど)赤ちゃんへの影響は大丈

夫?」「薬を飲んでいるけど赤ちゃんにおっぱいをあげてもいいのかなあ。」そんな心配にお答えします。

③. 治験・臨床研究の予備審査

新しい薬を開発したり、正しい薬の使い方を調べたりするためには、患者さんにご協力いただく治験や臨床研究が欠かせません。当院でも多くの患者さんに臨床研究にご協力いただいております。そこで、患者さんに不利益を生じることがなく、また質の高い臨床研究が実施されるように、審査時に予め計画書の内容を入念にチェックしています。

計4名の内科医・薬剤師で分担して業務を行っています。常に患者さんのことを第一に考えて、最も適切と考えられる方法を選択しています。臨床薬理センターの医師・薬剤師に相談したいことがございましたら、主治医を通じていつでもご相談ください。



移植外科のカンファランス



妊婦・授乳婦への薬の使用の調査



薬物濃度測定機器 (高速液体クロマトグラフィー)

季節のレシピ

とちぎ野菜の鶏飯風

暑い夏は、冷たい料理に偏りがちではないでしょうか？


たんぱく源や野菜がとれて栄養バランスのよいお料理として、鶏飯（ケイハン）をご紹介します。鶏飯は九州 鹿児島島の郷土料理で、学校給食でも提供されている料理だそうです。

厚生労働省の発表している「健康な食事」では、生活習慣病予防のために野菜1食120gを摂取することが推奨されています。今回は、栃木県産野菜を取り入れたレシピを作成しました。

材 料 (1人分)

- ご飯……………150g(茶碗1杯弱)
- 鶏ムネ肉(皮なし) ……60g
- ★ 水 ……500ml(2.5カップ)
- ★ 長ねぎ ……5cm分(約10g)
- ★ しょうが ……1かけ(約20g)
- オクラ ……2本(約20g)
- なす ……1/2本(約50g)
- にんじん ……1/2本(約30g)
- しいたけ ……1個(約20g)
- たくあん ……15g
- 小ねぎ ……5g
- レモンの皮 ……2g
- ごま油 ……小さじ1(約4g)
- ★ 水 ……200ml(1カップ)
- ★ 鶏がらだし(顆粒) ……小さじ1(約4.5g)
- ★ 減塩しょうゆ ……小さじ1(約4.5g)
- ★ 清酒 ……小さじ1(約4.5g)
- ★ みりん ……小さじ1(約4.5g)
- ★ 塩 ……ひとつまみ(約0.6g)

作 り 方

1. 長ねぎは2分割にざっくり切ります。しょうがは薄切りにします。
★をまとめて鍋に入れて煮立たせます。煮立ったら鶏肉を入れて5分ほどゆで、終わったらそのまま冷まします。
 2. にんじんは千切り、しいたけは薄切り、オクラは8等分に切ります。なすは食べやすいサイズに切って水にさらします。
- 
3. フライパンに4の野菜と3のゆで汁50ml(1/4カップ)を入れて煮立たせます。煮立ったらごま油をまわし入れ火を弱め、蓋をして、5分ほど蒸します。
 4. 鍋に★を入れてひと煮立ちさせます。
 5. 小ねぎは小口切り、レモンの皮・たくあんは千切り(もしくはみじん切り)します。
 6. 盛り付けて完成です。

☆料理ポイント☆

- * 野菜は蒸すと、120gの野菜でも無理なく食べることができます。今回はフライパンで簡単に蒸し煮にしました。
- * 「健康な食事」では1食 食塩3g以内が推奨されています。鶏飯+野菜1品(例：ほうれん草の胡麻和え等)を組み合わせると1食 食塩3g以内で揃えることができます。
- * 具材は、今回のレシピで使用していない野菜もお試ください。



栄養量
約400kcal
食塩 約1.0g

※治療食の指示がある方は、ご自分の食事療法に準じてください。
担当：臨床栄養部 千葉円香

検査の豆知識

病理診断部では、病気の治療方針を決めたり、治療の効果を評価するために、主に患部から採取された組織や細胞を顕微鏡で調べて、病変の種類や性質、状態などを明らかにしています。今回は、TVドラマ「フラジャイル」でも話題となった病理検査/病理診断について説明します。



病理診断はミクロのレベルで病気を見極めます

私たちの体を構成する細胞は、何らかの原因で異常を来すと、細胞の形や並びなどが変わったり、普通では見られない種類の細胞が増えてきたりします。病理診断では、その細胞の種類や形の変化、細胞の周囲の変化を顕微鏡で捉えて病気の診断を行います。

その守備範囲は全身、そして特に「がん」の診断には不可欠です

体に生じる様々な疾患が病理診断の対象となりますが、特にがんなどの腫瘍性病変では確定診断方法として不可欠です。

例えば乳房のしこり(腫瘍)を理由に受診された患者さんに対しては、触診のあと、マンモグラフィーやエコーなどの検査を行うのが普通で、これらによって、ある程度の診断の予測ができます。しかし、そのしこりが良性病変であるのか悪性腫瘍(がん)であるのか、どんな種類なのかの診断は病理診断が担っています。そのしこりの部の組織を採取して顕微鏡レベルで調べないと分からないからです。

検診などで受けた大腸や胃の内視鏡検査で「組織をとって調べます」と言われた方がいるかも知れません。これは、「異常(ポリープや粘膜のあれなど)な部分の組織の一部を採取して病理専門医に診断を依頼します」という意味です。これによって、炎症で粘膜が荒れていたただけなのか、手術の必要な腫瘍であるのか、などの診断を下すことができます。

この病理診断は、手術の最中に、リンパ節へのがんの転移の有無を調べたり、手術でがんが採り切れているかの診断などを行うことも有ります。

また、手術で摘出された臓器/組織についても、病巣の拡がり(がんの場合ステージ)や手術の妥当性などを調べています。

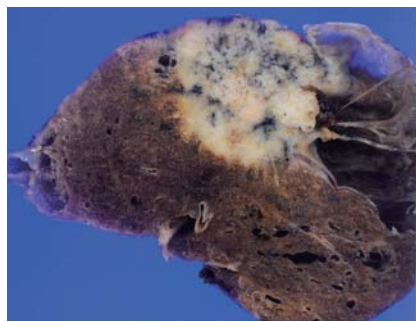


写真1：肺がんの肉眼像

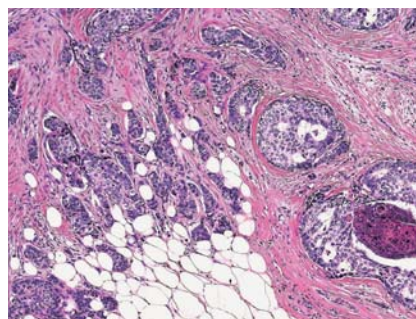


写真2：乳がんの顕微鏡像
がんが乳腺や脂肪組織に広がっている像

病理専門医と専門検査技師が病理検査を担います

病理診断を行うための顕微鏡標本などは、専門の臨床検査技師(病理検査技師)が作製し、病理診断はそのトレーニングを受けた医師(病理診断医)が医療行為として行っています。



写真3：病理診断室
(すべて標本は、病理専門医によるダブルチェックを経て診断が確定され、臨床担当医に報告されます。)

担当：病理診断部・病理診断科
福嶋敬宜

お知らせ掲示板

自治医科大学附属病院の各部署のご案内

七夕コンサートの開催について

患者サービス検討委員会

7月9日(土)に本館1階生理機能検査室にて、七夕コンサートが開催されました。今回は、自治医大管弦楽団の皆さんやミュージックボランティア松本さんに演奏していただき多くの患者さんや面会者の皆さんにお越しいただきました。

第1部は自治医大管弦楽団の皆さんによるバイオリン演奏で幕が開け、まるでオーケストラのような迫力ある演奏を聞かせてくださり、「心が癒され感動した」との感想を多くいただきました。

第2部では、ミュージックボランティア松本さんがシンセサイザー等で「世界に一つだけの花」等馴染み深い曲を演奏してくださり、会場の皆さんが楽しそうに口ずさむ様子が見られました。

コンサート終了後には、「一生懸命さが伝わってきてとても暖かいコンサートだった」、「療養中の良い気分転換になった」、「これからも開催してほしい」との感想を多数いただきました。今後も、皆さんに喜んでいただけるようなコンサートを開催していきたいと思っております。



病院敷地内全面禁煙のお知らせ

健康増進法では、学校や病院など多数の者が利用する施設において、受動喫煙(他の人のたばこの煙を吸うこと)の防止を定めております。

当院では、法の主旨に基づき、平成20年9月1日から病院敷地内を**全面禁煙**としております。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



禁煙したい方へ

**当院には禁煙外来がございます。
電話予約のうえ、受診ください。**

- 診察日 毎週月曜日 午後3時～4時
(完全予約制)
- 連絡先 自治医科大学附属病院 呼吸器内科
0285-58-7467(直通)
午後2時～午後4時(土日祝祭日除く)

ふれあい看護体験

看護部

看護部では、近代看護の創設者ナイチンゲールの生誕の日に併せ、毎年5月に「ふれあい看護体験」を実施しております。この看護体験は、“看護の心をみんなの心に”をメインテーマに全国各地で行われております。当院では、例年、体験希望者が多く、昨年度からは5月と7月の年2回開催しており、今年度は5月に96名、7月には60名の高校生が参加しました。午前中の2時間という限られた時間ではありますが、各病棟の看護師と一緒に血圧測定、清拭、洗髪、足浴、授乳、患者さんとのコミュニケーション等を実施しました。

参加された高校生からは、「患者さんの着替えのときに看護師が患者さんの苦痛が少ないように工夫していたことに感動した」「痛みが強く辛そうな患者さんにそっと寄り添って、患者さんと一体となって治療に取り組んでいる姿を見ることができた」「看護師は体と心の両方のケアを行っていることがわかった」等の声が聞かれ、“看護の心”に関心を深める機会になったのではないかと思います。また、「進路を悩んでいたが、体験をとおして看護の道に進むことを決心した」「看護師の仕事は想像していた以上にたいへんだったが、それ以上にやりがいがある仕事だと思った」等の嬉しい声もいただきました。将来、看護職として一緒に活動できることを期待し、今年度のふれあい看護体験を終了いたしました。



合同ボランティア説明会を開催しました

経営管理課

平成28年4月17日(日)に合同ボランティア説明会が行われました。説明会では、「附属病院」及び「とちぎ子ども医療センター」のボランティアを始め、「花咲jii」と「ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ」の4つのボランティア活動について紹介がありました。

当日は、午前午後に分かれて2回の説明会が行われ、風の強い中にもかかわらず、42名の方々にご参加いただきました。説明会では、各ボランティアの活動について説明したあとに、子ども医療センターの外来や庭を見学、続いてマクドナルド・ハウスを訪れて、以前から活動していただいているボランティアさんから説明を受けながら、実際の活動の様子を見ていただきました。

ボランティアへの参加は、随時受け付けております。興味をもたれた方は、些細な事でも構いませんので、以下の連絡先までお問い合わせください。

皆さまのご参加をお待ちしております。

- ・自治医科大学附属病院
- ・自治医科大学附属病院 とちぎ子ども医療センター
- ・花咲jii

※上記3団体のご案内及び活動内容については、裏表紙「ボランティア募集」または、病院内に設置しているリーフレットをご覧ください。

- ・ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ
- 活動日：平日、土、日、祝日（2週間に1回3時間）
 活動場所：自治医大2号館
 活動内容：清掃活動、チェックイン・アウト対応、事務ワーク
 連絡先：0285-58-7551

平成28年 熊本地震 災害派遣

経営管理課

4月14日から熊本県を中心に発生した一連の地震に対し、自治医科大学附属病院では医療救護班【活動期間 4月28日～5月2日】、災害派遣精神医療チーム(DPAT)【同 5月20日～5月24日】を派遣しました。

現地での活動に従事した方々から感想をお寄せいただきました。

医療救護班

循環器センター内科部門 石山 裕介 医師



4月14日・16日に発生した熊本地震で被災された方、また親族や知人が被災された方にはお悔やみ申し上げます。4月28日から5月2日にわたり、自治医大救護班として熊本入りしました。発生から約2週間で九州新幹線、九州自動車道は全線開通したところでした。熊本市内から震度7を記録した益城町へ入ると崩れた家屋が目立ち、ところどころ通行が困難なところがありました。医療事情としては近隣のクリニックが開院されていたことや、中枢である熊本市内の病院機能が残存していたことは東日本大震災とは異なる状況で、定期内服する薬がなくて困っている方は見受けられませんでした。ただし私たちが活動した総合体育館は芸能人の炊き出しやグラウンドでのテント設営などでメディアに取り上げられる注目された避難所でしたので、医療資源だけではなく物資やボランティアも集中していたのではないかと感じています。救護班として行ったのですが、すでにニーズは保健活動に移行しており、保健師とともに避難者の健康状態のチェックと、避難所過密状態解消を目的とした移動の斡旋が主な活動でした。想定外の活動ではありましたが、臨機応変に対応してくれた救護班の皆さんには感謝いたします。

災害派遣精神医療チーム(DPAT)

精神科 西依 康 医師



DPAT (Disaster Psychiatric Assistance Team) とは、大規模災害発生時における精神医療支援(被災地における精神医療の支援、心的外傷後障害などの新たな精神疾患発症の予防など)を目的に組織されたチームである。東日本大震災の際にも同様の「こころのケアチーム」が派遣されたが、発生後早期からの介入に対応するべく厚生労働省によって事前に整備された組織であるという点が異なる。今回我々は、DPAT活動全体を調整する本部に配属され、当初予想していたような現場での被災者対応ではなく、各地域で活動する他県チームから報告される情報の管理、それを基にした今後の活動の企画、各チームへの指示といった作業が割り当てられた。

東日本、熊本という大きな災害を経験した今や、災害時医療(精神医学だけでなく)はむしろこれから十分に整備されてゆくべき分野である。東海地方など今後災害が懸念されている地域からは、被災した場合を想定した視察も兼ねて参加していると話すチームもあった。栃木県が大規模災害の被災地となる可能性はそう高くないかもしれないが、今回全国に広い人脈を持つ当学が災害時医療で果たせる役割についても、一考の余地があるかもしれない。

ボランティア募集

自治医科大学附属病院

- 活動日 月～金（祝日除く）
- 場 所 自治医科大学附属病院
- 内 容 外来中心 診察申込書記入の代筆、院内の案内、
車椅子の患者様の介助など



お問い合わせ先

自治医科大学附属病院
地域医療連携・患者支援部 ボランティア支援室

TEL 0285-58-7103 (直通)

E-mail honin-volunteer@jichi.ac.jp

とちぎ子ども医療センター

- 活動日 月～金（祝日除く）9：00～17：00
- 場 所 子ども医療センター
- 内 容 外来（案内・見守りなど）
病棟（保育・学習・読み聞かせなど）
作業（手芸・園芸・装飾など）



花咲jii

- 活動日 毎月第3又は第4日曜日（午前中）
- 場 所 子ども医療センター 外庭
- 目 的 美しい花、香りのある木、実のなる樹木
を植え、季節感を与え、病気と闘う子ども
たちや家族を元気づける
- 内 容 花木の植栽、除草、花床の整備など



お問い合わせ先

とちぎ子ども医療センター ボランティア室

TEL 0285-58-7815 (担当：鈴木)

E-mail child-volunteer@jichi.ac.jp

ご意見・ご感想

「自治医科大学附属病院だより」へのご意見・ご感想をお寄せください。

ご連絡先▶自治医科大学附属病院 経営管理課 TEL 0285-58-7103 メールアドレス soumu@jichi.ac.jp

ご面会について

ご面会の時間は次のとおりです

本館・新館 ●平日 13:00～20:00
●土・日・祝日 13:00～20:00

(ただし、産科病棟は、毎日 15:00～19:00)
精神科病棟は、毎日 13:00～19:00)

・ご面会の方は、必ず本館1階総合案内「面会者受付」で受付し、**バッヂ**を付けていただき各病棟のスタッフステーションで**許可**を受けてから病室にお入りください。

子ども医療センター 15:00～19:00

・ご面会の方は総合案内にて受付をして、**面会カード**を首から提げて病院の入り口でインターホンを押し、お名前とお子様との関係をお話ください。

※ご面会は決められた時間内に短時間でお願います。

※大勢でのご面会はご遠慮ください。

※お子様は感染防止のため、お連れにならないでください。

面会の際には、
時間を守りま
しょう。

第24号

自治医科大学附属病院だより

〒329-0498

栃木県下野市薬師寺3311番地1

TEL 0285-44-2111

FAX 0285-40-6016

URL <http://www.jichi.ac.jp>

発行日/平成28年8月1日

編集・発行/自治医科大学附属病院
病院広報戦略会議

印刷/(株)松井ピ・テ・オ・印刷